

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月13日			
平成15年度	事業コード	18130	電話	042-769-8202
担当部課名	企画部	文化国際	課	
事務事業名	国際交流ラウンジ事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 8 章	国際平和と人権が尊重される社会を実現します。	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	世界とともに生きる地域社会の実現	8 年度
施策名	第 3 施策	国際化の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
地域の国際化や国際理解を推進するため、外国人市民に対する情報提供を図るとともに、市民との交流の場、外国人市民及び外国人市民を支援する団体の活動の場として活用するため設置する。 さがみはら国際交流ラウンジは、相模原市が設置し、ボランティアを中心としたさがみはら国際交流ラウンジ運営委員会が運営を行っている。	市民 対象数 延べ 21,000人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 307日、年間利用者数 21,000人(うち外国人325人)、相談受付件数 410件 ・国際交流フェスティバルの開催、ティー・タイムの開催(10回、参加者780人) ・通訳(医療通訳を含む)及び翻訳ボランティアの派遣 ・外国語講座、ボランティア研修会、学習会、スタッフ研修等の実施 ・公民館や学校の総合的学習時間等における国際理解推進活動の実施(ボランティアの派遣) 63件 ・機関紙「ラウンジニュース」の発行 12回、多言語版(8言語)「ぼらちった」の発行 3回 ・ウェルネス通信のルビふり版の発行、保健所ガイド及び集団予防接種年間予定表のルビふり版と多言語版の発行 	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	ラウンジの利用者数	ラウンジの年間利用者数	年間利用者数を一つの指標とすることで、ラウンジの利用・活動状況の一面が把握できる。	20,388	20,557	21,000	21,300	21,600
	相談件数	年間相談件数	年間相談件数を一つの指標とすることで、ラウンジの利用・活動状況の一面が把握できる。	251	437	410	420	430

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	15,397	18,281	20,932	20,756	20,756
	人員・時間数	0.5人	1人	1人	1人	1人
	人件費	4,195	8,390	8,390	8,390	8,390
	その他経費					
	合計	19,592	26,671	29,322	29,146	29,146
	特定財源	385	280	180	135	135
	対象数	20,388	20,557	21,000	21,300	21,600
	対象の単位あたり経費	1.0	1.3	1.4	1.4	1.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	さがみはら国際交流ラウンジは、新世紀さがみはらプランに示す「世界と共に生きる地域社会の実現」のために、情報提供の場、交流の場、ボランティア団体の活動の場という目的を担っており、多様な事業を国際交流・理解のために行っている。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 相模原市の国際化の推進拠点として、また、市民、ボランティア団体、行政とのパートナーシップ型まちづくりを目指す本市の一つのモデルケースとして大変重要な事業である
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		説明
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない さがみはら国際交流ラウンジは、ボランティアと行政との連携・協力によって運営されている施設であり、費用対効果は極めて高い。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	ラウンジはどなたでもボランティア登録でき、公共施設として機能している。また、ラウンジで行っている各種異文化理解推進事業は事業効果も高く、満足頂いているが外国籍市民に対する情報提供や市民への周知が課題である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明: ボランティア等の積極的な運営への参加を促し連携を深めることによって、ラウンジホームページの内容を多言語化するなど情報提供の更なる充実に努める。	手段	ボランティアにより必要最小限のコストで行っており、引き続き最小のコストで事業を実施できるよう努めていく。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 さがみはら国際交流ラウンジは、ボランティアと行政との連携・協力によって運営されている施設であり、行政とのパートナーシップ型まちづくりを目指す本市の一つのモデルケースとして大変重要である。 今後は、更に市民への事業の周知を図るとともに、本市の国際交流の拠点として広範囲なボランティアとの連携を深めて行く必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--